

■安川第五郎 実業家。[安川電機]を創業して大企業にし、業界・財界活動に重き、<敗戦>後の復興の一端を担った。
やすかわだいごろう
帝国大学始・1886= 福岡県遠賀郡芦屋町生れ。筑豊炭田開発の先駆者である安川敬一郎の五男。

帝国憲法発布1889= 3歳：

日清戦争始・1894= 8歳：
日清戦争終・1895= 9歳：

日露戦争始・1904=18歳：
日露戦争終・1905=19歳：

明治天皇没・1912=26歳：_東京帝大工学部電気工学科を卒業、日立製作所に入った後、
大正政変・1913=27歳：_アメリカに渡り、ウェスティングハウス社に見習として約5ヶ月勤務して、
第一次大戦始1914=28歳：_帰国後、父から何か事業を始めるよう命じられ、
21ヶ条要求・1915=29歳：*合資会社安川電機製作所を創立。その代表社員となり、

原敬首相暗殺1921=35歳：
水平社結成・1922=36歳：

満州事変・1931=45歳：

二二六事件・1936=50歳：*兄の急死の後を受けて社長に就任、
日中戦争始・1937=51歳：
その後、人間性と指導力により、活動分野を業界全体、財界全体へとしだいに拡大させ、
大政翼賛会・1940=54歳：
日米開戦・1941=55歳：<日米開戦>後の、
1942=56歳：_いわゆる経済新体制のもとで、電気機械統制会会长に就任し、経営から離れる。

敗戦・1945=59歳：_<敗戦>後、
新憲法公布・1946=60歳：_石炭庁長官に就任したが、公職追放となり、安川電機取締役に復帰、

三大事件・1949=63歳：_安川電機会長になって後は、
独立回復・1951=65歳：

55年体制始・1955=69歳：日本銀行政策委員、
国連加盟・1956=70歳：原子力研究所理事長、
なべ底不況・1957=71歳：日本原子力発電社長等、_公共公益役割を担うようになり、
インストラーマン・1958=72歳：

安保闘争・1960=74歳：

全国総合計画1962=76歳：日本原子力発電会長、

東京オリンピック 1964=78歳：*東京オリンピックでは、組織委員会会长として貢献、
大学紛争始・1965=79歳：綜合警備保障株式会社会長、

美濃部都知事1967=81歳：
大阪万博・1970=84歳：自伝「わが回想録」。日本原子力発電会長を退任・_勲一等旭日大綬章。
ドリヨック・1971=85歳：_日本原子力産業会議会長になるも、
石油ショック1973=87歳：_退任し、
田中角栄逮捕1976=90歳：_没した。

平凡社百科事典、